

月刊島民

中之島

Vol.99 2016 10/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

「道修町と神農祭」

桂春之輔 林家染雀

高島幸次

申し込み受付中!

橋を渡る人の「街事情」マガジン



「生きた建築」の見方。

日本最大級の建築公開イベント
 生きた建築ミュージアム
 フェスティバル大阪2016
 今年は11月5日(土)・6日(日)に開催!
 →概要はP8

近代建築史で巡る 「生きた建築」。

明治時代後半から戦前にかけての大阪の近代建築史を、
 イケフェスに参加する建物に関わる人物や出来事を中心にご紹介。
 時代や物語を知ること、建築のまた違った顔が見えてくるかもしれない。

★特集内で写真付きで紹介している建物は、イケフェスのプログラムに参加しています。詳細は公式ガイド(P8)で確認してください。

辰野金吾と 大阪の出会い。

辰野金吾が大阪に建築事務所を開いたのは、明治38年(1905)のことだった。

それまで東京帝大で多くの学生を指導してきた辰野にとって、民間の建築事務所を開くことは一つの宿願だったという。政府主導で建築家を「つくり」、近代国家にとって必要な建築を建てさせることが目的だった明治時代において、「お国のため」ではない生き方を模索することは、第一人者の責務と考えたのだろうか。

もともと辰野は大阪との縁は薄かった。しかし、明治28年(1895)頃、日本生命の設計依頼を受けたあたりから、一気につながりを強めていく。明治30年代に日本銀行大阪支店の設計を依頼され、続いて明治34年には大阪の大財閥である住友家の建築顧問に就いている。そうして大阪での事務所開設に至るわけだが、周りの人々は怪訝に思ったそう

やってみよう!

明治の建築家の苦勞に思いを馳せ、辰野金吾と片岡安(片岡家)を結びつけてくれたことに最敬礼しよう。



日本銀行大阪支店

[建設年]1903年

[設計]辰野金吾、葛西万司、長野宇平治

だ。日露戦争(1904年)後、大阪の経済は東京に輪をかけて停滞しており、いつ好転するか予測がつかなかった。なにしろ仕事がなく、辰野の教え子で共同経営者の片岡安も1年ほどは事務所でブラブラ

していたらしい。しかし、戦後の復興政策が功を奏し、一転して日本が景気に沸くようになると、新

会社が続々と設立され、街には新しい建物がどんどん建てられていった。果たして辰野に先見の明があったのかはわからないが、辰野の事務所には続々と設計依頼が寄せられることとなる。



Kingo Tatsuno

1854~1919 日銀本店や東京駅で知られる日本人初の建築家。赤煉瓦に白い帯の華やかなスタイルは「辰野式」と称される。

大局観か、無謀な挑戦か? 辰野金吾の大阪進出。

辰野金吾の大阪進出については、日本生命の創立者である片岡直温の勧めがあったのではと指摘されている。実はこの直温の兄・片岡直輝は辰野が設計を手がけていた日銀の大阪支店長であった。直輝は、建設中の日銀の工事技師のうち最年少だった細野安青年の将来を見込み、弟の直温の長女の婿に迎える。

当時のベンチャー企業家たる直温が身内に建築家を置きたいと考えるのは納得できるし、直輝もまた直後に日銀を辞めて大阪ガスなどの企業経営に乗り出している。一方の辰野にとっても愛弟子が新興財閥の跡取りになるのは心強いことだったろう。

片岡姓となった安は、その後、日銀を離れ、一旦民間銀行に入社して社屋の新築などの実務経験を経て、辰野に呼び戻され、共同で事務所を開くこととなる。

ちなみに、大阪事務所の2年前に開設した東京事務所のパートナーである葛西万司も岩手の名家の出身であるところを見ると、辰野とはなかなか手堅い人物だったのか。いや、業界の最重要人物ですらこうなのだから、明治時代の建築家が民間事務所を経営する苦勞は並大抵ではなかったと捉えるべきかもしれない。

「設計料」って 何ですか?

景気が回復したのはよかったものの、もう一つ、辰野や片岡の頭を悩ませたものがあった。それは設計料の問題である。当時の建築家はとにかく設計料を得るのに苦労した。その理由としては、明治以前の日本には、大工の棟梁はいても建

取材文/大迫力(本誌)
 取材協力/橋寺知子(関西大学准教授)



Yasushi Kataoka

1876～1946 辰野と共同で事務所を設立。多くの建築を手がけ、共に、建築家の職能確立に尽力し、都市計画にも参画した。

片岡安、奮闘す。

辰野片岡事務所では、明治末から大正時代にかけて、百数十棟の建物を手がけたとされる。その中で、設計や専門知識に対して金を払いたがらないクライアントを向こうに回し、片岡がとった方法は極めて愚直だった。片岡は創業以来5年間、休日返上で仕事をした。つまり、労働量や献身を一番わかりやすい形で示し、それに対して報酬を支払わせようとした

のである。
片岡のこのやり方から察するに、大阪人にとつての経済合理性とは、単なる「ケチ」と言うよりも、「出した金に見合うかどうか」という点においてだったのだろう。
旺盛な設計活動のかたわら、片岡は関西の建築家を集めて「日本建築家協会」を創立し、建築家の団結と社会への貢献を図ろうとした。また、都市計画を専門とした關一大阪市長と共に、御堂筋を大動脈とし、その沿道に近代的なビルが建ち並ぶプランを推し進め、そのための法整備が必要であることを東京まで足を運んで官僚たちに訴えた。
片岡の思いは、ひとえに建築家を取り巻く環境の向上に対するものだった。あるいはそれは、「フリー・アーキテクト」が生きていくための道を開こうとした師

大阪市中央公会堂のコンペと建築が建つことの意味。

この時期の辰野片岡事務所の仕事として、大阪市中央公会堂に触れないわけにはいかない。設計競技＝コンペが開かれ、新人から大御所まで13人が参加し、第1席には最年少の岡田信一郎が輝いた。岡田は公会堂の建築顧問であった辰野の教え子であり、コンペ後の実施設計は辰野の事務所で行っている。辰野の意向が強く働いていたというのは有名な話である。

ところで、公会堂のコンペと同じ明治45年(1912)、先代の大阪市役所庁舎の設計コンペも行われている。このコンペは一般に広く募集され、図面はすべて中之島公会堂(現在の前身)に展示公開されたという。

当時の建築家の世間での評判はかくの如しであったから、こうした試みもまた、建築家の知名度を上げるのに役買ったことだろう。そして、実際に建物が建つことで、人々はその良さをより強く理解することができる。百聞は一見に如かずである。

やってみよう!

コンペ時のその他の案を調べ、今は違う公会堂の風景を想像してみよう。

大阪市中央公会堂

[建設年]1918年 [原設計]岡田信一郎
[実施設計]辰野片岡建築事務所



匠・辰野金吾の意志を受け継いでのものだったのかもしれない。片岡が後輩を叱責する時に言い放った言葉からは、その

ことへの強烈な自負がうかがえる。「建築家が設計料をもらえるようにしたのは誰のおかげだ」

中之島図書館に始まる、偉大なる「臨時建築部」の系譜。

明治時代の建築で忘れてはいけないのは、明治37年(1904)に建てられた大阪府立中之島図書館だ。設計は野口孫市。建設費及び図書購入費を寄附した住友家の本店臨時建築部の技師長である。野口の設計したこの図書館は、日本人が西洋建築の技法を十分に消化した完成度の高い作品として、近代建築史上でも重要とされている。惜しむらくは、その野口が46歳の若さで亡くなってしまったこと。師匠の辰野金吾は、愛弟子の早過ぎる死を大いに悲しんだという。

ところで、野口が所属した臨時建築部とは、銀行の新社屋から一家の別荘まで、住友家に関わるさまざまな建物のために設けられた部署だった。野口亡き後も、共に図書館の設計に当たった日高胖や、本店ビルの実担当となる長谷部鋭吉、竹腰健造といった才能ある建築家が集った。

長谷部と竹腰は、悲願だった住友ビルディング(現在の三井住友銀行大阪本店ビル)の工事終了後、昭和8年(1933)に独立して事務所を開業する。大阪証券取引所ビル(P7)など多くの作品を手がけ、その事務所はやがて日本一の設計事務所である日建設計のルーツとなる。そうした系譜を思えば、なんと偉大な臨時建築部だったのだろう。

やってみよう!

正面入口から中央ホールへと進み、建築を体感する醍醐味を味わおう。



大阪府立中之島図書館

[建設年]1904年
[設計]住友本店臨時建築部
(野口孫市、日高胖)

建築家はいなかったことがまず挙げられる。すなわち、設計(デザイン)も施工(建てる)も同じ人がやるので、実際に建物を建てること以外の設計や施工監理が、仕事であることと認識されていなかったのだ。したがって、設計のようなクリエイティブ

ブワークに対価を支払う考えがないのは当たり前。そんなものは「お布施」程度で構わないだろうという認識だった。こうした状況は辰野や片岡が大阪にやって来た頃でも、あまり変わらなかったようだ。しかも大阪の場合、官庁など公的な建物が多かった東京とは異なり、建築家に依頼をよこすのは民間企業が多かった。当然クライアントは大阪でもとりわけ経済合理性にシビアな人々たちである。やがて事務所の実質的な責任者となっていた片岡安が、「建築士の職業に不案内なる到底東京方面の比にあらざる」とこぼしているのは、その苦勞の大きさを物語っている。

「新造形」が やって来た。

辰野や片岡が大阪で活躍し始める少し前、19世紀末頃から、世界の建築は、それまで主流だった歴史様式から離れようとする動きが顕著になってきた。石造の伝統的な装飾を省略し、平滑な外観で、重厚な雰囲気よりも軽さや明るさを演出

やってみよう!

外壁の奥に眠る赤煉瓦を想像し、建築の流行の移り変わりを実感しよう。



グランサンクタス淀屋橋

〔建設年〕1918年
〔設計〕辰野片岡建築事務所
〔改修〕國枝博(1929年)
〔建替〕IAO竹田設計(2013年)

「新造形」の建築が増えていった点だ。実際、片岡もこうした世界的な流行の影響を受けていた。細部の装飾を大胆に直線化・単純化したデザインは当時の大阪の典型とされたい。グランサンクタス淀屋橋は元は辰野片岡事務所の設計した大阪農工銀行だったが、そうした流行は取り入れず、「辰野式」の赤煉瓦のクラシックな外観だった。ところが、わずか11年後に全面改修され、新造形の影響を受けたアラバ

しようとする試みだ。

大阪が面白いのは、西洋建築が建ち並ぶのが東京と比べて遅れたぶん、「西洋建築Ⅱ歴史様式建築」の図式が定着しないことから、新しい流行の影響を受けた「新造形」の建築が増えていった点だ。

スク模様のテラコッタが施される。これは皮肉と言うべきなのだろうか。また、同時代に関西で活躍した建築家に河合浩蔵がいる。堂島にあった大阪控訴院ほか裁判所を多く手がけた第一人者で、片岡よりもずいぶん年長だが、自らを「現代式」と称したように、歴史様式に留まることなく新しい表現を追い求めた。その河合の作品である新井ビルは、銀行として建てられたことを思えばなか



新井ビル

〔建設年〕1922年
〔設計〕河合建築事務所
(河合浩蔵)

なか軽やかなデザインだ。中央電気倶楽部を設計した葛野社一郎は、「スーボー」とかセクションとか、兎に角新味の勝った流行的様式がドシドシ取り込まれて、思いきった物が出来る」と大阪の建築界を評している。明治末期に建てられた北浜レトロビルディングだ、今でこそまさにレトロだが、外装に用いた薄い煉瓦や幾何学的な装飾は当時としては新しかったはずだ。



北浜レトロビルディング

〔建設年〕1912年
〔設計〕不詳

「様式」は 問いません。

新しいものを認める雰囲気は、その後も大阪を包んでいた。船場ビル、芝川ビル、生駒ビル、中央電気倶楽部など、1920年代から30年代にかけて相次いで生まれた建築はいずれも何らかの形で新しさを競っていた。

これらの「新しさ」は当然意図されたものはずだ。最先端であることをアピールしたり、前の時代とは違うことをしたいという思いが、建築家にも施主にもあったに違いない。首都ではない大阪だからこそ、素直に自分たちのやりたいことを実現できたという見方もできる。

やってみよう!

それぞれのビルの「新しさ」を探してみよう。



芝川ビル

〔建設年〕1927年
〔設計〕澁谷五郎、本間乙彦



船場ビルディング

〔建設年〕1925年
〔設計〕村上徹一

それぞれの 「モダン」。

そんなこともあってか、新しいものは生むがいまいち突き抜けないというのが、大正期〜戦前大阪の建築史的評価のようだ。世界では装飾のないモダニズム建築の波が押し寄せているのに、歴史様式との間で رفتり来たりしているではないか、ということか。しかし、その煩悶の中から新しい時代を切り拓いていこうとする建築家も生まれる。その代表が安井武雄と村野藤吾である。



大阪倶楽部

〔建設年〕1924年
〔設計〕片岡建築事務所
(安井武雄)

やってみよう!

大阪倶楽部と大阪ガスビルを比べて、安井武雄の「自由さ」を実感しよう。

1884~1955 渡満後の片岡事務所時代に手がけた大阪倶楽部や独立後の大阪ガスビルなど、どの様式にも属さない「自由様式」を標榜。



Takeo Yasui



やってみよう!
豪華なところと簡素なところ
をリスタップしてみよう。

綿業会館

〔建設年〕1931年
〔設計〕渡邊節
建築事務所



Setsu Watanabe

1884～1967 東大卒業後、韓国へ渡るなどして大阪へ。2度の渡米で身に付けた合理主義的建築と、人に好まれる性格で人気に。

歴史を知ると、 建築の見え方が 変わりますか？



お答え
橋寺知子さん
(関西大学准教授)

装飾や様式がわかると、建築を「モノ」として評価できる能力が備わるわけですが、建築もまた「モノ」である以上、これは大事な点だと思えます。加えて建築史の流れを知れば、前後の類例との比較もでき、より楽しめそうです。作者を知ると、その人物の中での作風の変化や、師弟関係の影響が見えてくることもあり、楽しむポイントが増えるのではないのでしょうか。

戦後建築などは、戦前期の建築に比べると装飾はないし、素材も（一般の方が無条件に評価してくれる）石や煉瓦ではなく、金属板やパネルといった工業製品です。「モノ」としてだけ見れば、戦前建築より劣る評価をされがちですが、時代背景や当時の設計者がどんな思いで素材を選んだかを知れば、時代を映す鏡のような存在として捉えられるようになります。

たぶん、伊勢神宮も、「モノ」として見れば、かなりシンプルな木造の小屋でしかないかもしれませんが（築年数で言えば、船場の近代建築より新しいんですよ！）。でも、日本の歴史や神話の知識、式年遷宮という保存のシステムなどを知っているから素晴らしいと思えるのではないのでしょうか。「モノ」の素晴らしいところとその背景を知ること、建築が立体的になってくるような気がします。

参考文献／
『日本建築家山脈』（村松貞次郎・1965年・鹿島出版会）
『関西における建築家の職能』
（日本建築学会編『近代日本建築学発達史』第12編所収・坂本勝比古執筆・1972年・丸善）
『日本の建築 明治・大正・昭和』第3巻（1979年・三省堂）
『建築設計競技 コンペティションの系譜と展望』
（近江菜・1986年・鹿島出版会）
『関西の近代建築 ウォールスから村野藤吾まで』
（石田潤一郎・1996年・中央公論美術出版）
『聞き書き関西の建築』
（佐野正一、石田潤一郎・1999年・日刊建設工業新聞社）
『大阪モダン建築』
（橋爪紳也監修・高岡伸一、三木学編著・2007年・青玄舎）
『特別展 村野藤吾 やわらかな建築とインテリア』図録
（2014年・大阪歴史博物館）
『重要文化財大阪市中央公会堂保存・再生工事報告書』
（大阪市教育委員会編・2003年・大阪市）
『生きた建築 大阪』
（橋爪紳也監修・高岡伸一、倉方俊輔、嘉名光市編著・2015年・140B）

ある建築家は、大阪の建築を「実際の打算的に着実」と言ったそうだが、なるほどその通りかもしれない。新しい方がよければそうするし、古い要素を残した方がよければそれも構わない。大阪の建築について回った経済合理性、すなわち「出した金に見合うか」とは、いわばそういうことなのだから。



中央電気倶楽部

〔建設年〕1930年
〔設計〕葛野壮一郎



生駒ビル

〔建設年〕1930年
〔設計〕宗建築事務所



Togo Murano

1891～1984 早稲田大卒業後、渡邊事務所へ。大衆に支持されるデザインを叩き込まれ、戦前～戦後にかけて多くの建築を生む。

痕がうかがえる。また、一見それらとは違う印象の大阪ガスビルも、白黒の色調の対比や2階のガラスバルコニーなど、すっきりしているようで独創性たつぷりである。

一方の村野藤吾は、大学まではモダンズムを志向しながら、請われて就職した大阪で、事務所の所長である渡邊節から「モダン過ぎるのはダメ」と釘を刺され、渡邊流の歴史様式を上手く取り入れた「売れる図面」を書くよう求められた。村野は大阪人の営利至上主義的な価値観にため息をつきながらも、建築もまた市場経済の中で売れる商品でなければなら

輸出繊維会館

〔建設年〕1960年
〔設計〕村野・森建築事務所（村野藤吾）



やってみよう!
村野藤吾の気遣いを感じ、
心の中で「ありがとう」とつ
ぶやこう。



大阪ガスビル(南館)

〔建設年〕1933年
〔設計〕安井武雄建築事務所

ないとの思いから、大衆の視線に寄り添った建築に生きる道を見出していた。

戦後の作品だが、輸出繊維会館は外装こそモダンで無機質な感じがするものの、モザイクタイルが美しい玄関ホールには来訪者への歓迎の気持ちが満ちている。

建設会社が語る、 「ここを見てほしい！」。

イケフェスに参加する建物の多くが、大林組と竹中工務店によって設計や建設工事、改修工事などが行われている。そこで両社のみなさんに、技術者の視点から「ここを見てほしい」ポイントを紹介してもらおう。

名建築のDNAを未来へ受け継ぐ。

大林組



こじょう
古城雄一さん
(大林組 大阪本店
建築事業部 品質管理部)

昨年、イケフェスでは、当社が取り組んだ保存・再生工事のレクチャーを行い、参加者の方の反響をとて嬉しく思いました。「取り壊した方がコストが安いのでは？」という質問もありましたが、所有者が抱いている建物への想いや建物自体の価値は、お金では量りきれない部分があります。

近年は全国的に保存・再生をはじめ改修工事の需要が高まっていて、当社でもリニューアル設計部が発足したばかりです。保存方法は「建物はそのままに、耐震補強する方法」「一部をそのままに、新しい建物と一体化する方法」「解体して元に近い状態で再現する方法」などさまざま。今回はその代表例を選びました。近づいて観察すると、使われた素材の違いや、補強の跡がわかんと思います。



ダイビル本館

[建設年]1925年 [設計] 渡邊節建築事務所
[建替年]2013年

レンガや石を解体時に回収し、再使用できるものは洗浄・補修。その選別は職人によるもので、やはり機械化はできないと実感。洗浄したレンガはエイジング加工を行いました。保存・再生工事は「どの時代のイメージまで戻すか」も事前に協議されました。



大阪証券取引所ビル

[建設年]1935年 [設計] 長谷部竹腰建築事務所
[保存建替年]2004年 [設計] 三菱地所設計・日建設計監理JV

印象的なドーム外壁を現物保存し、他部分を解体。当初は既存の石を回収しようとしたが、破損が多くて断念。元の石と同じ北木島(岡山県)の花崗岩を使って、ドーム両袖部分の再現に成功した。話題の五代友厚像も建替え時に建立。



武田道修町ビル

[建設年]1928年
[設計] 片岡建築事務所(松室重光)

事業主の創業地ということから可能な限り現状を保存。増築が繰り返されており、構造補強との両立に苦慮した。外観の一部は当時の意匠も復刻させている。資料館として「杏雨書屋」が1階に入り、これまでの歴史を継承しつつ、新たな歴史づくりの一躍を担うものと期待しています。



日本生命保険相互会社本館

[建設年][1期]1938年 [2期]1962年
[設計][1期]長谷部竹腰建設事務所 [2期]日建設計

御堂筋のライトアップなど景観を意識し、花崗岩を用いた本館にたたずまいを統一したいという施主の意向を受けて改修。戦後に竣工したタイル貼りの南館は、江戸切りで仕上げた花崗岩貼りに変更し、東側の高層ビルも本館のイメージを継承しました。



ルポンドシエルビル(大林組旧本店)

[建設年]1926年
[設計]大林組(小田島平吉、外観デザイン:平松英彦)

大林組の四代目本店ビルで、移転後も記念碑的建物として残すことに。外観は変えずに耐震補強を行い、レストラン入居に備えてLED照明を導入。土佐堀川側からは当ビル越しに西日本初の超高層ビルである旧本店がのぞく、当社の技術が結集した風景。

リーチバー (リーガロイヤルホテル)

【建設年】1965年
【設計】吉田五十八研究室 竹中工務店

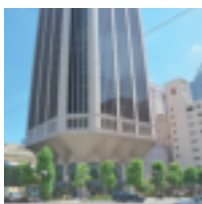
ここでは50年間使
い込まれた本物の材
料と技術による内装
空間を落ち着いて味わ
うことが大切。陶芸家
バーナード・リーチの発
想を基にデザインし、多
くの民藝作家の作品
が展示されている。



大同生命大阪本社ビル

【建設年】1925年 【設計】ヴォーリス建築事務所
【建替年】1993年 【設計】一粒社ヴォーリス建築事務所+日建設計

70年近くその存在
感を保ち続けた旧ビル
への愛着から、「メモリ
アル計画」という形で
保存復元再生された。
旧正面頭頂部外壁や
床大理石、テラコッタ
柱、光天井など、現地
で確かめてほしい。



三井住友銀行大阪中央支店

【建設年】1936年 【設計】曾禰中條建築事務所
【改修】竹中工務店 (2013年)

古典様式銀行建築
のお手本。2009年か
ら改修が実施され、1階
大天井の精緻な左官
仕事の補修再生は職
人技の極み。間接光を
伴うリング型LED照明
も似合っている。外壁
照明も塀筋の魅力を
高めている。



北御堂 (本願寺津村別院)

【建設年】1962年 【設計】岸田建築研究所 (岸田日出刀)
【改修】竹中工務店 (2013年)

50年以上を経た打
ち放しコンクリートの全
面補修再生技術の冴
えを、遠近から実感し
てほしい。本堂は訪れる
価値のある静謐な空間。
前庭のベンチもほとと
一息付ける。イケフェス
期間中も通常公開中。



御堂ビル (竹中工務店大阪本店)

【建設年】1965年
【設計】竹中工務店 (岩本博行)

「50年経っても新し
いビル」を目指し、今年
も館内ツアーではBCP
(事業継続計画) 工事
技術を紹介する。1階
ホールは建築のテーマ
パークに変身! ぜひ
私たちのビルにお越し
ください。



施工の工夫、そして見学者の驚きや感想を知り、
このビルとこの街に40年も通えたことに感謝し、
誇らしく思うようになりました。

当社は400年ほど前に宮大工棟梁として創業
し、今年で会社創立から117年を迎え、とりわけ
大阪ではたくさんさんの作品を残しています。このワ
ンポイント解説を参考に、イケフェスを通して、「生
きた建築」を支えているさまざまな技術と想いを
感じていただけたら嬉しいです。

現代に活かす棟梁の技と魂。 竹中工務店



中原文雄さん
(竹中工務店 設計部)

一昨年の春、御堂ビルが「生
きた建築ミュージアム・大阪セ
レクション」に選定され、イケ
フェスに参加することになりま
した。それまで自分の通うビル
に特段の想いを抱くこともな
かったのですが、案内役を引き受
けてからは、社員の想い、設計

中之島 フェスティバルタワー

【建設年】2012年
【設計】日建設計

普通の超高層ビルではない。下部に大音
楽ホールを抱え込むために、上下の構造を
分ける中間層免震に加え、メガトラスが採用
されている。13階スカイロビーに上ると現れ
る巨大な黒い構造物がそれだ(下写真)。最
強鋼材「SA440」でできた、最大厚10セン
チの斜め柱の溶接接合部(削り仕上げをせ
ず記念に残されている)に手を触れて、造船
にも匹敵する日本最高度の現場溶接技術
を体感してほしい。



梅田スカイビル (新梅田シティ)

【建設年】1993年 【監理】積水ハウス
【設計・監理】原広司+アトリエ・ファイ建築研究所
木村俊彦構造設計事務所 竹中工務店

「未来につながる建築を」という事業者の
想いに、空中庭園を架けた世界初の連結超
高層というかたちで応えた設計者。そして
1000トンの空中庭園を地上で組み7時間か
けて150m持ち上げるリフトアップ工法(下
写真)を実現させた施工の技術力。思想と技
術が一体となり、世界でトップ20に選定され
た建築が大阪にある。サア、超高層の可
能性を飛躍させた記念碑的建築を見に行こう!



スケジュールを組む。

たくさん見るか、待ち時間を覚悟か。
見たい建物に合わせて、スケジューリングを。

ガイドブックを手に入れたら、次はスケジュールを立てよう。今年も70件を超える建物が参加。人数制限のある建物では、1時間以上の待ち時間が発生する場合もある。並ぶのを覚悟で人気の建物を見に行くか、それともたくさんの建物を巡るか、交通手段も含めてあらかじめ考えておくのがベターようだ。ガイドブックには建物ごとに混雑度の目安が示されているので、そちらも参考にしたい。

また、見学ツアーやトークなど一部申し込みが必要なプログラムもある。競争率は低くはないようだが、貴重なチャンスでもあるので、チャレンジしてみては。



プログラムの時間や内容はホームページでも見ることができる。また、企業や個人単位での寄附も募集中。
<http://ikenchiku.jp/>

期待を高める。

ナカノシマ大学10月講座は直前スペシャル！
万城目学さんも登場して、生きた建築を語り合う。

フェス当日への期待を高めるのにぴったりなのが、ナカノシマ大学の10月講座だ。翌週に迫ったイケフェスを目前に、「生きた建築ナイト」と題し、ガイドブックにもご登場の作家・万城目学さんが、高岡伸一さん・倉方俊輔さんと共に語り合う。建築好きとしても知られる万城目さんの目に、大阪の生きた建築はどう映ったのか？ 大阪の新たな魅力が浮かび上がってきそう。3人のトークを聞くうちに、フェスに行くのがさらに楽しみになるに違いない。



万城目学×高岡伸一×倉方俊輔
「今夜もデラックス！
生きた建築ナイト」

日時／2016年10月27日(木)
7:00PM～8:30PM頃
(開場6:30PM～)

会場／大阪市中央公会堂 中集会室
受講料／2,000円

定員／200名

◎申し込み方法は

P9を参考にしてください。

ガイドブックを買う。

豪華執筆陣コラム&あの人からのコメント付き！
ガイドブックを手に入れないと始まらない。

今年のニュースはガイドブックが有料になったこと。とは言っても、300円というリーズナブルなお値段。毎年、大充実の内容だが、豪華執筆陣による建築コラムに加え、今年には作家・万城目学さんのコメントも収録されている。

建物が公開されるスケジュールなどは公式ホームページでも確認できるが、地図を見ながら歩いて街を巡るなら、やっぱりガイドブックが便利。大阪市内主要書店にて販売中。売り切れる前に早めに手に入れるべし。

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2016
公式ガイドブック(300円+税込み)



●ガイドブック取扱書店

梅田萬屋書店／紀伊國屋書店
梅田本店／紀伊國屋書店 グランフロント大阪店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 天満橋店／ジュンク堂書店 難波店／スタンダードブックストア あべの／スタンダードブックストア 心斎橋／スタンダードブックストア 茶屋町／公会堂SHOP／文芸堂書店 淀屋橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／柳々堂書店 (五十音順)

建築を知る。

大阪セクション50件をコンプリートした、
『生きた建築 大阪』を読んで予習しよう。

スケジュールが決まったら、建物の事前情報をリサーチしてみよう。昨年出版された『生きた建築 大阪』は、生きた建築ミュージアム大阪セクションに選ばれた50件の建築を、一つずつ丁寧に解説している。それもそのはず、セクションの有識者委員のメンバーでもある高岡伸一さん、倉方俊輔さんがメインで執筆を担当。写真もたっぷりで、建築の魅力がダイレクトに伝わってくる。

本を読んでから行きたい建物を決めるのもアリだ。

『生きた建築 大阪』
(1,600円+税／140B)



70件超の
建物が公開！
&
初参加もあり！

今年のニュースを中心に、イケフェスのアウトラインをご紹介します。これをクリアすれば、あとは11月5・6日のイケフェス当日を待つばかり！

イケフェスまでの4つの準備。

取材文／大迫力本誌



「イケフェスを

一緒につくってくださる！」

高岡伸一さん

(生きた建築ミュージアム大阪
実行委員会事務局)

過去2回のフェスを開催していますが、建物のオーナーさんや企業の方たちのホスピタリティには驚いています。「せっかく来てくれるのだから」と、丁寧にガイドをしてくださったり、こちらが求める以上のサービスをしてくださるので本当にありがたいです。

また、多くの人が訪れることによって、ふだんそのビルを使う人々の建物への愛着が増していることもイケフェスの効果の一つだと思います。

昨年度までは大阪市の事業として行われていましたが、今年から民間が主体の実行委員会が主催するイベントとなり、実施体制が大きく変わりました。ガイドブックを販売することになったのもそのためです。参加してくださるみなさんも、「一緒にイケフェスをつくるんだ」という気持ちで、ぜひご協力いただければと思います。



神農祭の日に
やります!



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

◎今月の授業

【薬の町】



2016年11月講座

「落語で楽しむ! 道修町と神農祭」

落語／桂春之輔 林家染雀

講演／高島幸次(大阪大学招聘教授・大阪天満宮文化研究所)

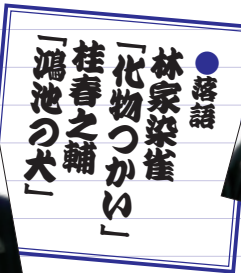
年に一度の「神農祭」の日、道修町にちなんだネタで
薬の町の歴史と祭りを楽しむための落語会!

江戸時代から幕府公認の薬の町として
知られ、薬種問屋が集った大阪・船場の
道修町。薬の神さまである少彦名神社の
存在はもちろん、多くの製薬関係企業が軒
を連ね、社内に資料
館を開設する動きも
見られ、今もその歴史
が受け継がれている
ことを実感できる。



その道修町が1年で一番華やぐのが、少
彦名神社のお祭り、11月22日・23日の
「神農祭」の日だ。この日は神農祭ゆかり
の笹飾りと張り子の虎でにぎやかに彩ら
れ、朝から晩まで屋台が並ぶ。

そんな特別な日に、道修町にちなんだネ
タの落語会を開催。落語を聴いた後は、今
回の会場である田辺三菱製薬本社内にあ
る史料館も見学可能。お帰り際には、神
農祭の雰囲気や余韻も楽しめます。



「薬の道修町で
お待ちしております」

土屋裕弘さん
(田辺三菱製薬株式会社
取締役会長)



神農さんこと少彦名神社のお膝元に私た
ち関連企業が集まり続けているのは、今も昔
も、医薬品産業が大阪で重要な意味を持っ
ているからです。健康に関心が集まっている今こ
そ、薬の町・道修町から大阪を元気にしてい
きたい。それが、世界で2番目に古い歴史を持
つ田辺三菱製薬の使命だと思っています。

私も入社して40年が経ちますが、初めて神
農祭を見た時は「こんなににぎやかな祭を大
阪の真ん中でやっていたのか」と驚いたもの
です。神農祭をご存じでない方もまだまだ多い
でしょう。当日は落語や道修町の歴史とともに、
祭の雰囲気も味わってください。

「落語で楽しむ! 道修町と神農祭」

日時／2016年11月22日(火)

6:30PM～8:30PM頃(開場5:45PM～)

会場／田辺三菱製薬本社

受講料／2,000円(史料館見学+お土産付き)

定員／200名

主催／ナカノシマ大学事務局

協力／田辺三菱製薬株式会社

募集要項

お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学11月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付後、10月20日前後より受講票をお送りします。

※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。

※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

天神繁昌亭
毎月25日の楽しみ

天神寄席 嘸のおとまり

十月席のご案内

申込受付中

●お題【大阪城】

「大阪城の猛者たち」

大河ドラマもいよいよ佳境。徳川方と豊臣方の戦いの舞台として、俄然、注目を集めているのが大阪城だ。さすがは古くから天下一の名城と謳われただけあり、大阪城が登場するネタは数多い。今回のゲストは、現在、大阪城天守閣の館長を務める北川央先生。虚々実々の入り交じる落語や講談の世界は、大阪城研究のスペシャリストにとってどのように映っているのだろうか。

落語／笑福亭松五「真田山」

旭堂小三「真田の山城」

桂歌之助「骨つり」

桂春雨「荒大名の茶の湯」

桂文太「くつしやみ講釈」

鼎談／史実と伝説と落語と

ゲスト／北川央（大阪城天守閣館長）

高島幸次（大阪大学招聘教）

旭堂小三

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／10月25日（火）

開演時間／6:30PM（開場6:00PM）／受付開始5:45PM（

受講料／2300円（通常・前売2500円／当日3000円）

お支払い方法／当日（5:45PM）、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達次第、予約受付を終了します。ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP9を参照してください。

大阪城天守閣の北川央館長。大河ドラマの感想をぜひ聞いてみたい。

来年、五代目旭堂小南陵を襲名する小二三さん。ずばり、真田幸村が主人公の講談を披露。

トリの桂文太さんは、おなじみの古典「くつしやみ講釈」。どんな講釈を演じるのかも楽しみ。



八月席の二コマ

御来場御礼

鼎談／「天満宮と繁昌亭」

寺井種伯（大阪天満宮宮司）

高島幸次 桂春之輔

高 繁昌亭は9月で10周年を迎えますが、今日はここができた経緯を寺井宮司にうかがいたいと思います。

寺 13、14年前でしようか、天神橋筋3丁目の土居陶器店のご店主を通じて、「天満宮の敷地に落語の常設小屋を建てさせてほしい」という話をいただいたんです。

春 最初は商店街の空いた場所です。落語会をしたいというお願いだったんですがね。寺 私もお参りの後に立ち寄れる場所があればと思っ



「地域の人々と天満宮が知恵を出し合って進めていきたいと考えています。アが寄せられています。（中略）東京浅草における仲店（仲見世）のような町がいいですね。裏門のあたりはかつては素人義太夫の小屋などで賑わっていました。そんな懐かしい庶民の街らしい、憩いのある町を思い浮かべています。…どうですか？

春 すこい。予言してはるやないですか！

高 寺井宮司は今のような風景をはるか昔からイメージしておられたんですね。

帰ってきた! 関西人のための

「新潟のええところ・うまいもんゼミナール」

第1回「大阪人がえこひいきする新潟～あの湯、あの味、あの風景」講師／原田年晴



左／佐渡島・小木(おぎ)海岸のたらい舟 上／蔵元数日本一を誇る新潟県の銘酒 下／原田アナが唸った栃尾の油揚げ



はらだ・としはる

1959年大阪市生まれ。京都産業大学在学中から大学の放送局に所属。1983年ラジオ大阪(OBC)入社。月～金曜午後の「ほんまもん! 原田年晴です」パーソナリティーでおなじみ。ラジオ大阪を代表するアナウンサーとして、「上方漫才大賞」授賞式の司会など他の在阪局イベントでも活躍。趣味は旅行、ワイン、時刻表、そして地図マニア。2009年から「にいがた観光特使」。

●今シーズンの会場は

梅田・大阪富国生命ビル4Fの多目的スペース「アサヒ ラボ・ガーデン」。食やお酒、スポーツ、子育て等のイベントを頻繁に開催。フリースペースでは休憩や友人との待ち合わせに、読書に使える憩いの場です。授乳室も完備。食と健康にちなんだ書籍もあります。

11:00AM～8:00PM 日曜休(祝日は営業)※夏季の一部・年末年始休

<http://www.asahigroup-holdings.com/research/labgarden/index.psp.html>



超強力講師陣、ゾクゾク! ※以下の応募受付は来月以降、順次行います

第2回 12.6(火) 江 弘毅(街の編集者) 第3回 1.11(水) 江部拓弥(雑誌「dancyu」編集長)

第4回 2.1(水) 葉石かおり(利き酒師・エッセイスト)

第5回 3.1(水) 北出恭子(温泉ソムリエ・TVタレント)＋遠間和弘(温泉ソムリエ家元) ※予定

「大阪人がえこひいきする新潟～あの湯、あの味、あの風景」

日時／2016年11月2日(水)

6:30PM～8:00PM(開場6:00PM)

会場／アサヒ ラボ・ガーデン(大阪富国生命ビル4F)

受講料／無料(新潟県のおみやげ付き) 定員／50名

主催／新潟県観光協会大阪観光センター

共催／上越・糸魚川・妙高観光連携実行委員会(第4・5回)

協力／アサヒ ラボ・ガーデン

運営／新潟のええところ・うまいもんゼミナール事務局

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ・fax、もしくはナカノシマ大学HP(<http://nakanoshima-univ.com/>)内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ・faxでお申し込みの方で複数名の(応募される方も含めて4名まで可能)ご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記し、講座名と開催日を必ずお書き添えください。〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4F「関西にいかたゼミ」係 tel.06-4799-1340(平日10時～18時) fax.06-4799-1341 ※締切=10.17(月)必着。応募者多数の場合は抽選。当選の方にのみ、締切から5日以内に受講票を発送します。

新潟県へのアクセス

●JRの場合(大阪駅から)

特急サンダーバード→北陸新幹線

(金沢駅乗換、糸魚川駅・上越妙高駅)

約3時間50分

東海道・上越新幹線(東京駅乗換、新潟駅)

約4時間20分

●航空機の場合(大阪伊丹空港→新潟空港)

約1時間05分(1日10往復)

●クルマの場合(吹田IC→新潟中央IC)

名神高速道→北陸自動車道 約6時間30分



中之島に、芸術の秋がやってきた！

11月は、帝塚山学院 100周年を祝う芸術展へ。

11月3日(木)～6日(日)
@堂島リバーフォーラム
各日10:00～18:00
(3日のみ12:00～)
入場無料

上町台地の南端、帝塚山に拠点を置く「帝塚山学院」。

大阪船場の実業家たちが松林だった帝塚山の土地を開拓し、
自分たちの別宅をこぞって構え、教育にも力を入れるべしと学院の創立に尽力しました。
そして100周年を迎える今年、記念芸術展が堂島リバーフォーラムで開催されます。



絵画や書道、写真に
映像作品、立体まで。
多くの作品が並びます



帝塚山学院小学校の
校長を務めた
学院創立100周年記念
事業実行委員
文田雅夫さん

1 作品を見てもらえる喜びが 子どもの意欲につながります。

芸術展では、帝塚山学院の幼稚園から
大学、プロの作家として活躍する卒業生
もいる同窓会まで、幅広い世代の作品お
よそ550点が一同に会します。芸術教育に
も力を入れている学校なので、周年記念
の展覧会開催は恒例ですが、100周年を
迎える今回は最大規模。絵画だけでなく、
立体作品も並ぶので見応えがありますよ。
自分たちの作品が多くの方々に見ても
らえることを、児童や生徒自身も楽しみにし
ているんです。



例年の小学校美術展の様子。

小出楯重画伯
「卓上の花」特別公開！
11/3(木)12:00～17:30

小出楯重「卓上の花」(帝塚
山学院蔵、大阪市立美術館
に寄託)。大正14年、
「美育」を重視した帝塚
山学院は小出楯重を絵
画の教員に迎える。そ
の縁から本
作品が寄贈
された。



2 想像力かきたてる授業を 一生懸命考えています。

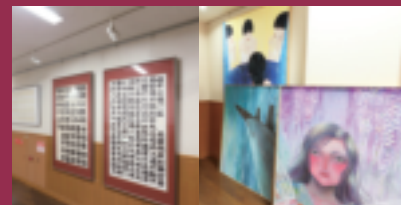
授業内容も、児童や生徒の想像力を伸ばすことを目標に、毎年
各教員が工夫しています。日本の伝統芸能のメイクに挑戦したり、
和紙など古来の素材を使ったり、現代らしい電子端末を使用した
アニメーションの授業はとても人気があります。



クレイアニメの撮影(左)や、歌舞伎の隈取の実習(右)など本格的だ。

3 芸術作品に囲まれて 生徒たちは育ちます。

授業で生まれた力作は、学
舎の廊下に飾られています。
旧校舎から移した床や階段
の意匠に触れている日常も、
児童や生徒の創作意欲が刺
激されるきっかけになってい
るでしょう。高等学校には絵
画やデザイン、映像やマンガ
を扱う美術系専攻があり、そ
ちらに進路を定める生徒も多い。学舎内には専用の教室を多く
設け、生徒が自由に創作できるよう心がけています。芸術展では、
そんな教育の一端も知っていただきたいです。



美術棟は小学校から高等学部までが使用し、廊下には多くの作品が並びます。

●「第65回 大阪私学美術展」で多数入選！

中学校・高等学校ともに、質の高い作品を評価され、学校団体優秀賞を受賞しました。個人賞として、優秀賞や、奨励賞、美術館館長賞も授与されました。



100周年記念芸術展への問い合わせは… 学校法人帝塚山学院 創立100周年記念事業局

〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51 TEL: 06-6672-1960 FAX: 06-6678-8797 E-mail: 100nen@tezukayama.ac.jp



クルーが毎月綴ります／

大阪水上バスの クルーズ歳時記

今月のオススメクルーズ 「舟運復活！ 淀川歴史探訪の旅」

みなさん、初めまして。
中之島を走るアクアライナーは、一度は見たり乗ったりしてもらったことがあると思います。30年前から、中之島エリアをほとんど休まず走っているんですよ。

実は大川だけでなく、枚方まで淀川を運航することがあります。それは11月限定の「淀川歴史探訪の旅」クルーズ。



大阪水上バス
企画宣伝部
岸田俊徳さん



かつて京都一大阪を結んでいた三十石船を復活させようと思ったもので、旅情を誘う竹の皮に包まれたお弁当や、川の今昔を語るガイドは大変人気です。

でも川底が浅い淀川はとてもやっかいで、大雨が降ると土砂が堆積し、船が座礁してしまうことも。船からのぞいた水面を水鳥が歩いている時は驚きましたが、実は水面ぎりぎりまで土砂がたまっていたりするのです。なので、クルーズ前には必ず、川の深さの調査へ出かけます。船が動かなくなったらびっくりしますもんね。この秋は一度、大川とは一味ちがう淀川を体験してくださいね。

料金／上り・下りコース共に4,950円(弁当付)
運航時間／上り 八軒家浜船着場9:30発・下り 枚方船着場13:00発 運航日／11月7日(月)、10日(木)、12日(土)、14日(月)、17日(木)、21日(月)、24日(木)、28日(月)

大阪水上バス 淀川歴史探訪の旅

☎0570-05-7771

こころまちつくり
KEIHAN
大阪水上バス

<http://suijo-bus.osaka/>



大阪・中之島から滋賀・大津まで、この秋は京阪電車の沿線

で多彩な音楽イベントが開催されている。実はこの「京街道JAZZライン」は、かつて

豊臣秀吉によって築かれてにぎわいを見せた街道に沿って行われており、京阪電車はまさにこの街道の宿場町をつなぐようにして走っているのだ。特に京阪電車天満橋駅からほど近い、楽器工房が集まる北大江エリアの「北大江たそがれコンサートweek」は、大盛り上がり。最終日は北大江公園での野外コンサート。今年は、総勢50名の子どもたちによるバイオリン演奏などを

京街道JAZZライン2016
第11回 北大江たそがれコンサートweek
期間／10月9日(日)～15日(土)
会場／北大江公園、天満橋駅周辺の楽器工房、レストラン、ギャラリーなど
※時間や会場、料金はプログラムによって異なる。詳しくは<http://kitaoe.jp>
問い合わせ／☎06-6942-2261
(北大江たそがれコンサート実行委員会 丸善ボタン内)

含む、クラシック中心の野外オーケストラ、後半にはフレンチギターやアコーディオンなどの音楽ユニットが登場。プロ演奏者と地元出身の子どもたちの共演が実現した。各プログラムの詳細はホームページを参照すべし。(江口由夏・本誌)

秋の恒例イベント、「NAKANOSHIMA-STYLE.COM」フォトコンテスト」の応募が今年もスタートしている。発表されたテーマは「撮っておきの中之島」。普段なげなく中之島を歩いている、思わずカメラを向けたくなる四季折々の風景や、特別な催しも多いことに気づく。日常のワンシーンから、決定的瞬間まで、誰かに見せたいと思った

秋の恒例イベント、「NAKANOSHIMA-STYLE.COM」フォトコンテスト」の応募が今年もスタートしている。発表されたテーマは「撮っておきの中之島」。普段なげなく中之島を歩いている、思わずカメラを向けたくなる四季折々の風景や、特別な催しも多いことに気づく。日常のワンシーンから、決定的瞬間まで、誰かに見せたいと思った



2015年度最優秀作品「(右)今、花海中」

写真をぜひ応募しよう。撮影期間は過去1年間を対象としているので、お蔵入りしている写真の中からも探してみてもいいかが。もちろん、今から撮りに行くのも十分間に合う。

第11回 NAKANOSHIMA-STYLE.COM フォトコンテスト

応募規定／デジタルカメラ、携帯電話などで撮影されたデジタルデータを1人5点まで応募可能
ファイル形式／JPEG、GIFなど(サイズ=2MBまで)
応募方法／パソコン、携帯電話などからメール添付で下記の宛先へ送信。
メール本文に、「作品名」「撮影場所(簡単に)」「名前(ニックネーム可)」「賞品の送り先(郵便番号、住所、氏名、電話番号)」「勤務地(例:中之島)」を記入すること。(郵送不可)
送付先／oubo@nakanoshima-style.com 募集期間／11月30日(水)まで
写真撮影期間／2015年12月～2016年11月
詳しくは<http://www.nakanoshima-style.com>

トウニン月報

2016年10月1日発行

「NAKANOSHIMA-STYLE.COM」フォトコンテスト」開幕！



「お客さんの声を直接聞けるのが、グリーンマーケットのやりがいです」

毎月4日間、第1・第3の金曜日と土曜日に、中之島フェスティバルプラザの地下階で「プラザグリーンマーケット」を開いています。鳥取市が鳥取産の新鮮な野菜や果物を販売している特設マーケットで、今年で4年目。当初はタワース竣工に合わせた一度きりの催しでしたが、好評で次第に頻度が増え、今や同フロアの常設シヨップ「とりのまんま」とともに鳥取市の食材をアピールする一大拠点に成長しました。私自身、農産物の販路を開拓し始めたタイミングでこの場が生まれたので、毎月店頭に立つて一緒に成長している気がしています。

2013年春に全線開通した鳥取自動車道の効果で、大阪と鳥取の行き来は2時間半となりました。それをチャンスとみて、市のほうでも「思い切ってアピールする場を県外につくるなら、まずは大阪がふさわしいのでは」という声があがりました。



この近さですから、新鮮さには自信あり。前日や当日の朝に収穫した旬の野菜を携えて、中之島に届けています。農家の方には泊まり込みで来

てもらっているんです。野菜選びが上手なお客さんも多く、「きゅうりはトゲが付



ているのが新鮮な証拠やけど、こんな新鮮なのはスーパーで見たことないわ」と言ってくださいます。金曜日はお仕事婦りの方、土曜はフェスティバルホールのお客さんが多く立ち寄られるのですが、みなさんいっせいに主婦の顔になるのが

鳥取市の「採れたて」を中之島に届けている 鳥取市農林水産部 農業振興課生産流通振興室 田川雅一さん

面白いですね(笑)。グリーンマーケットの売りは、作り手の顔を見ながら買いたい物ができること。農家の方も食べごろを選んでもあげたり、美味しい食べ方を聞かれたりと接客します。「普通は出荷した野菜のゆくえはわからないけど、ここではお客さんに美味しかったと声をかけてもらえるのが嬉しい」と、毎月の参加が楽しみなようです。私も、当たり前前に食べていた地元の食材を、客観的な視点で再発見しています。

人気はやはり、鳥取の代名詞でもある梨。グリーンマーケットは旬の野菜や果物が並びますが、梨は季節によつて「二十世紀」や「新甘泉」など種類を変えて年中用意しています。梨には、青梨と赤梨の2種類があることをご存じですか？ 見た目の色も違いますが、前者はすっきりとした甘さでシャキシャキした食感、後者は甘みが強くてやわらかな舌ざわりが特徴。関西では青梨が人気ですが、秋から冬は赤梨が美味しいのでぜひ食べてみてください。

の色も違いますが、前者はすっきりとした甘さでシャキシャキした食感、後者は甘みが強くてやわらかな舌ざわりが特徴。関西では青梨が人気ですが、秋から冬は赤梨が美味しいのでぜひ食べてみてください。



祝 祭 へ よ う こ そ 。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>

提供/株式会社 朝日ビルディング

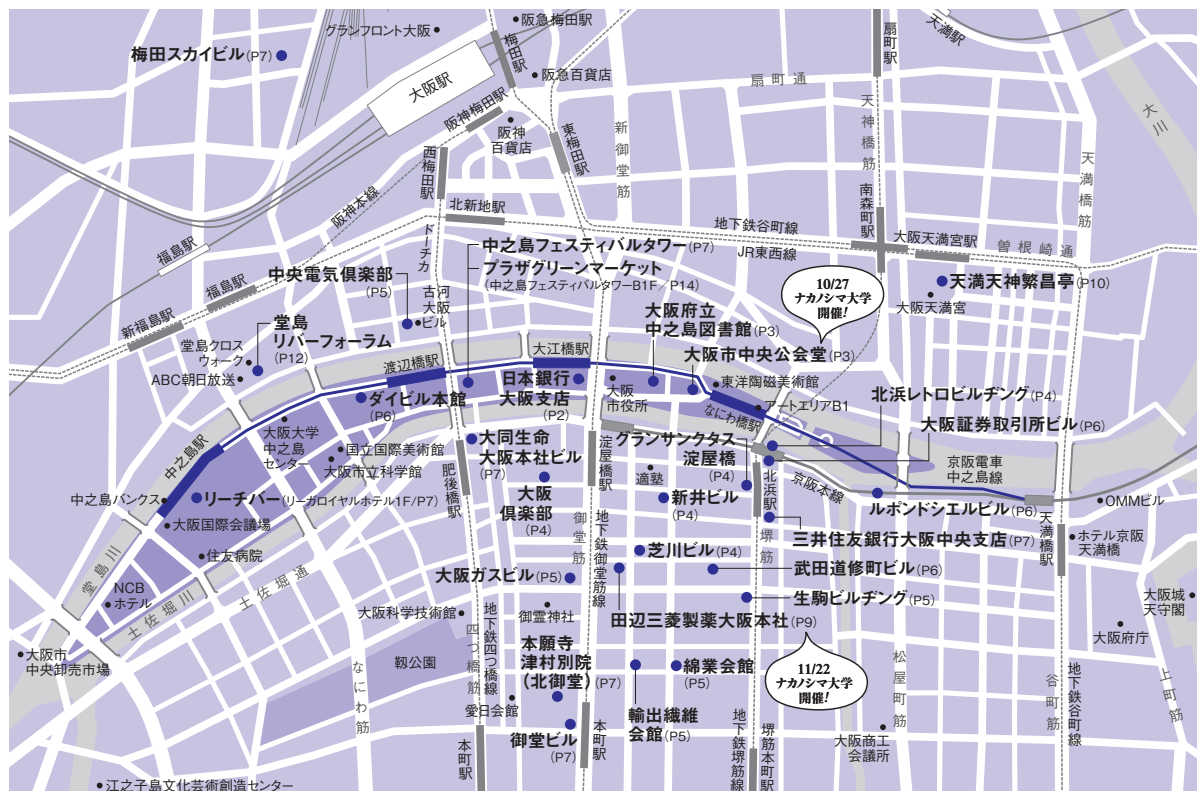
Information from プラザグリーンマーケット [中之島フェスティバルタワーB1階]

10月の開催は7日(金)・8日(土)・21日(金)・22日(土)(金曜4:00PM~8:00PM、土曜10:00AM~5:00PM)。日ごとにラインアップも変わり、10月は梨に加え、「瀬戸ジャイアンツ」といったぶどうもおすすめ。珍しい西洋野菜も最近加わり、プラザ内に店をかまえるシェフたちも買いに現れるほど。「鳥取は新鮮な魚や肉類も美味しいので、ぜひ現地にも遊びに来てください!」(田川さん)。鳥取市農業振興課 ☎0857-20-3239



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリススタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 〔書店〕旭屋書店 梅田地下街店／紀伊國屋書店 梅田本店／ジュンク堂書店 大阪本店／梅田ヒルトンプラザ店／天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／文芸堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 〔公共施設・大学関連施設など〕アイスポット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪梅田サテライト／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／少彦神社／中央電気倶楽部／適塾／ドーチャ／ホテルNCB／メビック扇町 立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス 〔店舗・医院など〕アンドール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前鮎料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／エルマーズグリーン コーヒーカウンター／大西洋服店／OOO(オー)／カセット／喫茶カンターロ／喫茶SAWA／グランドスイート中之島／黒門かき／コモンカフェ／The Court／サウ花店 中之島本店／ザ・メロディ／シアトルベストコーヒー新聞電ビル店／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャノ／バスターレー／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルミアカフェ／FOLK／プレムハウス／ミニシロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／LES LESTON
- 大阪市内その他 〔書店〕旭屋書店 なんばCITY店／紀伊國屋書店 京橋店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店／柳々堂／ループル書店 〔公共施設・大学関連施設など〕大阪科学技術館／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立中央図書館／大阪府立江之子島文化芸術創造センター／川口基督教會 〔店舗・医院など〕あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパル／大阪シティ信用金庫 江戸堀支店／御舟かもめ／カルチャーカフェ上方／Calo Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワナ／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂／Books 呼文堂／水嶋書房 ぐずはモール店／大阪狭山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画部広報・社学連携事務室／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／大阪府立中央図書館／摂南大学 地域連携センター／野村呼文堂／郵政考学会／ゆったりんこ 連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・シンブソン／百録／奈良県立図書情報館／龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)／BOOKSルーエ(吉祥寺)／B&B(下北沢)／隣町珈琲(原宿中庭)／ONLY FREE PAPER(東小金井)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 中之島100の話。

おかげさまで月刊島民は次号で通算100号を迎えます。
これまでの特集をふり返りつつ、あらためて中之島を知るための大事典。

●『月刊島民』vol.100は2016年11月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社

現代建築 × おけいはん

GENDAI KENCHIKU OKEIHAN



[今回の達人]
井上 章一

京都コンサートホール / 出町柳 けい子

いろんな建物に逢いたくて、秋の沿線、現代建築めぐり。

現代建築の達人、井上 章一さんといっしょに歩くと、
ふだん通り過ぎていた建築の、新しい顔が見えてきて。
沿線をめぐるのが、ますます面白くなりそうです。
くわしくはwebマガジンを見てくださいね。

めざせ！ 沿線の達人

webマガジン《現代建築編》公開中！ >>> www.okeihan.net  
京阪電車主要駅のチラシもご覧ください。



京阪の
おけいはん
は、人々、